

第72回まち研リーダー等会議

「こだわりと進化の一年」～館林らしさと、成果に向けて～

と き 平成18年10月13日（金）午後7時30分～午後9時
ところ まちやサロン
幹 事 ガイトーメイファ
出席者 ガイトーメイファ2、空創店舗2、花水木1、チュンタン2、ロマンロード1
オブザーバー1、事務局5 計 14名

1. 報告事項

- (1) 第1回 まち研温泉会議 (空創店舗)
平成18年10月1日（日）～2日（月）
・SHOZO CAFÉのオーナーとの対談など、大変有意義な研修を行うことが出来た。
また次回も企画したい。
- (2) 第9回 地域づくり団体研修交流会 館林大会（第42回まちや塾） (事務局)
平成18年10月6日（金）
まち歩き、意見交換会（まち研の取り組み説明）、交流会
・全体参加者 約40人
・まち研参加者 代表幹事、リーダー等4人
・まち歩き：天候に恵まれなかったが、市役所から土橋門、武鷹館、旧二業見番組合事務所とまちなかを歩く。ガイドは「ときめき会」と「文化財ボランティアの会」の皆さん。
・意見交換会：代表幹事によるまち研の取り組み説明。質疑応答。
- (3) 第43回 まちや塾 十五夜ジャズライブ in 武鷹館 (ガイトーメイファ)
平成18年10月6日（金）
・参加者 約70人
・演奏グループOLD BOYSの方や文化財ボランティアの会、まち研の皆さんの協力のおかげで非常に楽しいライブを開催することが出来た。来年もまた引き続き武鷹館でのライブ企画を行いたい。
・まち研HPのまちや塾ページに当日の様子をアップする。
- (4) FM MIT (事務局)
・まちやサロン内のFM MIT サテライトスタジオの活用については、今後FM MIT 側で、番組等を充実させるよう努力すること。
- (5) 第25回 下町夜市 (下町通り商店街振興組合)
10月21日（土） 18:00～21:00
・今月で下町夜市は3年目に突入。引き続き、ご協力をお願いする。
- (6) 市中心市街地活性化基本計画 ※資料1（省略） (事務局)
・現在、国の法改正に伴い、編集作業中。
- (7) 空き店舗出店者に対する補助金 ※資料2（省略） (事務局)
・まち研、市公式HP参照。

(8) まえばし市民ネットワークシステム ※資料3 (省略) (事務局)

- ・前橋市で、地域 SNS (ソーシャルネットワークサービス) が開始された。総務省などが推進する e-コミュニティ形成支援事業の実証実験として全国の市町村から選ばれて実施を行っている。(自治体全 11 市。八戸市、豊中市等)
- ・mixi と同じで、会員制の掲示板で、テーマごとにコミュニティを開け、情報交換や交流が行えるツール。

Q. SNS は顔が見えないデメリットがある。ネット環境では、ソーシャルなものがあり、コミュニティが広がっていく。しかし、SNS が最終兵器であるとは限らないと思う。館林が前橋のように地域 SNS に選ばれない理由とは？

A. 前橋は、大学等と連携し IT 化に力を入れているからではないかと思う。

Q. 情報マップでも SNS についての話が出たが、民間が行うとどれくらいの費用が掛かるのか？

A. 前橋は、総務省などが推進する e-コミュニティ形成支援事業の実証実験として助成を受けて SNS を実施しているため費用は不明だが、地域 SNS の場合、民間主体の場合採算が合わないと言われている。また、地域 SNS は、行政側のメリット (広報やアンケートなど) が大きいので、行政が負担する方が進むようである。

(9) その他

- まちなか情報マップ委員会 月一回行っているの、ぜひ参加を。
- まちやサロンの冷蔵庫故障 ある方から冷蔵庫を寄付していただいた。
- NPO 法人「田中正造記念館」の開設 場所 (東武佐野線・渡瀬駅北の旧渡瀬保育園の建物。)

2. 各グループからの報告、依頼事項

●ガイトーメイファ

- ・商店 ISO のプレゼンを今月中に行いたい。
- ・まちなか情報マップのメンバーも大いに関心があると思われる。プレゼンの日程の連絡をいただきたい。→後日、連絡します。

●ロマンロード

- ・タテバナシの新作 (2006 秋号・水のお話) が発行されました。

●空創店舗

- ・温泉会議 (於・那須高原) の報告書を ML で報告予定。

●花水木

- ・10 月 24 日 (火) 地域総研 宮本先生の講座開催
- ・11 月 18 日 (土) 鶴生田川親水大作戦

●チュンタン

- ・まちピカ終了後の「ホームルーム」でアンケートを実施した。多くの方の意見、考えを知る良い機会なので、今後も実施する予定。
- ・次回まちピカ 11/4 (土) 於・かごめ通り商店街

3. 協議事項

(1) 市環境審議会委員の推薦について ※資料4 (省略) (事務局)

- 推薦人員 1名
- 委員任期 平成18年12月21日～平成20年12月20日
- 現在 谷田川リーダー(花水木)
まち研から推薦をいただきたいとのこと。

- ・環境がテーマであるため、花水木より推薦することになった。

(2) ミッションと成果の出せる環境づくり(継続協議) (空創店舗)

- ・年度中で継続予定であったが、今回で協議は終了する。
- ・テーマに沿った事業が出来るかどうかを見直していきたい。

●年度末に全グループの報告会、発表会を行い、本テーマの確認と評価を行っていく。

(3) まち研HPリニューアル (事務局)

各グループのページ ブログ化計画(各グループの意見は?継続協議)

- ・全グループともに賛成意見 → ブログ化を決定!

ガイドーメイファ : 例会後にすぐにでも例会結果をアップしたい。
ロマンロード : 担当は高橋さんに決定。例会後にすぐに結果をアップしたい。
花水木 : 更新方法等を教えて欲しい。

→ブログの更新方法などの方法を学ぶまちや塾を開催してはどうか?

- ・来週、サロンスタッフと相談の上、ブログ化の方向で進めていく。
ブログのオリジナルプログラムを依頼予定。
- ・まち研メーリングリストの使い方と合わせ、講習会を開く。

(4) まち研の広報活動について (ガイドーメイファ)

■広報媒体の検討と手法

■パブリシティ(記事を通じた広報活動)、パブリックリレーションズ

○提案趣旨の説明

「まちづくりの関わる人をいかに増やしていくか?」あるいは「市民との関わりについて」を、特に広報面において戦略的に考える必要があるのではないか?

- ・NPO等のメディア戦略は、アメリカで確立している。
メディアも、見る人が限定されるような意図的記事を書けないこともある。

→地域を対象を限定した情報を発信するケーブルテレビは地域の発展に役出つ。媒体特性を活かした広報戦略を前向きに考えるべきである。

- ・その時に情報の収集を目的としてまちなか情報マップを利用していただ

きたい。

●各グループの担当が必要であり、今後継続協議とする。

(5) まち研メンバー増強プランについて(その4) ※資料5(省略) (事務局)

■まちや塾の積極的開催

○メンバー増員につながる「まちや塾」の積極的開催

(1) ケーブルテレビの地域での役割～地域メディアと地域コミュニティ～

(2) ハッピーリタイア! 団塊の世代 step up 講座

- ・ ケーブルテレビは、広範囲のことを想定しているのであらかじめテーマを絞った方がよい。10/6(金)の交流会にいたような元気なお年寄りが欲しい。難しいことは言わずに集めたい。
- ・ 団塊の世代を対象としたまちや塾は必要だが、資料中にあるインターン生考案の「ハッピーリタイア! 団塊の世代 step up 講座」と言うタイトルをそのまま使うということには問題がある。

●(2)については、タイトル名、内容を検討した上で、実施の方向。

■東洋大学との連携

- ・ 東洋大学国際観光学科 古屋ゼミと協働していきたい。
- ・ 例えば、「夜市に若い人に来てもらうためにどうするべきか？」などテーマ絞った上で検討する方が、より深い研究を行うことが出来る。

(6) その他

- ・ なし

次回(第73回)リーダー等会議 11月10日(金)午後7時 まちやサロン

■幹事 9・10月 ガイトーメイファ

⇒ 11・12月 ロマンロード ⇒ 1・2月 空創店舗

⇒ 3・4月 花水木 ⇒ 5・6月 チュンタン

※幹事グループ=報告・協議事項の取りまとめ、進行、書記、結果報告